

特集1 新生 県社協スタート 2・3・5
 平成18年度の主要事業予算..... 4
 福祉人材センターニュース..... 6
 ほっとすぽっと 子ども家庭支援センター所長
 深沢清美さん..... 8
 ボウリングシャトルをご存じですか?..... 9
 特集2 認知症高齢者グループホームの外部評価
10・11
 おしらせ.....12

やまなしの 福祉

2006年5月号



新組織のスタートを「和」と「学」で
 学んで思い、思っで学ぶ心が社協の心。県
 福祉プラザ近くで力を合わせて商店を営む
 林美茂さん一家（3世代）に登場いただき
 ました。

（「学而思 思而学」の書は古屋栄和県社協会長 筆）

発行 社会福祉法人 **山梨県社会福祉協議会**

〒400-0005 甲府市北新一丁目2-12 TEL 055-254-8610 FAX 055-254-8614
<http://www.y-fukushi.or.jp/>



この広報紙の作成費用の一部は赤い羽根共同募金
 配分金により発行されています。

福祉サービス一層の向上を

市町村社協への支援強化

平成18年4月1日、山梨県社会福祉協議会（県社協）は、長寿やまなし振興財団（長寿財団）との統合により、新体制でのスタートを切りました。県社協の今後の取り組みについて紹介します。

県社協は、財団法人とし 活力ある長寿社会の実現に向けて、昭和26年3月に設立後、翌27年5月の社会福祉法人認可から今日まで「地域福祉推進を目的とした事業」に取り組んでいます。

一方、平成3年9月に設立した長寿財団は、明るく 強化すること、地域福祉の推進と福祉サービスの向上をめざすものです。



やまなしボランティアアフエスティバル
人形劇の参加体験（南アルプス市）

平成18年度から改正介護保険法や障害者自立支援法が施行されました。また子育て支援やホームレスの問題、深刻化する子どもや高齢者等への虐待防止への対応等、取り組

まなければならぬ社会福祉問題がたくさんあります。こうした問題に対応できる「市町村における地域福祉」は、時代の要請であり、この中核となる市町村社会福祉協議会への支援強化のため、県社協は関係機関との連携のもと、事業を推進します。

地域福祉課

地域福祉とボランティア活動の推進

地域福祉活動計画の策定を促進するため、市町村と市町村社協に対する研修会等を開催します。10月には笛吹市において「やまなしボランティアアフエスティバル」を開催し、ボランティアの輪を広げます。

地域福祉権利擁護センター

自立した地域生活のための支援と権利を擁護
認知症高齢者、知的障害

者、精神障害者等が福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理のサービスを受ける権利擁護事業を円滑に行うことができるよう社協を支援します。

施設団体支援課

施設や関係団体の支援
民生委員児童委員協議会をはじめ、保育所連合会、老人福祉施設協議会等の団体事務局を担います。

また社会福祉施設の健全な運営を目的とした経営指導員による相談事業を行います。

さらに客観的な福祉サービスの評価事業を推進するため、昨年度設置した福祉サービス第三者評価推進機構を運営します。

福祉人材センター

福祉人材の無料職業紹介、就労相談、研修

福祉人材の養成を目的とした研修会等の開催や、迅速な求人・求職者への対応を図るため、県内各地での「出前相談」を年23回、開

催します。

介護実習普及センター

介護についての広報、講座、相談、福祉用具の展示、介護職員研修

本年度から県の指定管理者となりましたが、平成9年度開所以来の実績を踏まえながら「介護は社会全体で支えるもの」という理念のもとに講座の開催等を通じ、介護への理解と介護サ



福祉施設での体験活動 (甲府市)

ビスの質の向上に努めます。

長寿やまなし振興センター

高齢者の健康・生きがいづくり、高齢者総合相談、介護保険事業

長寿財団として行っていた「いきいき山梨ねりんピック」や「シルバー作品展」等を開催します。

また高齢者の総合相談事業、認知症高齢者グループ

ホーム外部評価事業、介護支援専門員(ケアマネージャー)実務研修受講試験等を行います。

企画課

生活福祉資金等貸付、ともしび基金等助成、広報紙作成

県民を対象とする「生活福祉資金」、高齢者及び重度心身障害者居室等整備資金、民間社会福祉施設を対

象とする「振興資金」の貸付、民間団体へのともしび基金助成事業等を行います。また本紙「やまなしの福祉」を作成します。

総務課

退職手当等共済、福利厚生センター地方事務局、環境ISOの継続的な実践

民間社会福祉に従事する職員のための退職手当等共済事業、福利厚生事業を行います。

そして社会福祉法人としての会務運営、昨年12月に取得した環境ISOに基づき「環境に優しく人に優しい福祉活動の推進」をめざします。

運営適正化委員会

福祉サービス苦情解決事業等による利用者の権利を擁護

利用者やその家族等からの福祉サービスについての苦情に対し、中立的な立場で適切に支援・解決するための委員会を運営します。

新たなスタートにあたり、県社協職員に2つの文字を贈ります。1つめは「和」です。県社協と長寿財団が統合し、巨大組織(本紙5面「組織図」参照)となった今、当面の課題は組織の「和」です。「和」の心をもって、常に情報を共有し、良好なコミュニケーションを確立することが大切です。職員が一丸となって行動できる体制づくりに努めましょう。2つめは「学」です。論語※に「学びて思わざれば即ち罔(くら)く、思いて学ばざれば、即ち殆(あ

「和」と「学」の精神で

県社協会長 古屋 栄和



不安がつきまとう」という意味です。毎日勉強しなければ変化する業務についていけません。知識だけを身につけても心の伴わないものは役には立ちません。

また思いだけが突出すれば、他人に耳を貸すことなく、自己主張ばかりとなってしまいます。県社協職員は、必要な知識の習得に研鑽(さん)を怠ることなく、常に「県民が我々に期待するものは何か」を見据える態度を磨くことです。そして県民から信頼され、尊敬される組織づくりにまい進してほしいと思います。

※論語は中国の思想家、孔子とその門人たちの対話をまとめた儒教の教典。

平成18年度県社協主要事業の当初予算額

※予算額は支出額ベース（単位：円）

会計区分・経理区分	当初予算額	前年度予算額	増減	備考
一般会計	618,307,000	410,732,695	207,574,305	
1 法人運営事業	165,423,000	127,637,000	37,786,000	
2 社会福祉大会	470,000	470,000	0	
3 地域福祉権利擁護事業	41,090,000	41,146,000	-56,000	
4 ボランティア振興事業	11,786,000	13,772,000	-1,986,000	
5 福祉施設経営指導事業	7,855,000	9,392,000	-1,537,000	
6 福祉サービス第三者評価推進事業	4,039,000	4,200,000	-161,000	
7 ねんりんピック事業	0	600,000	-600,000	※1
8 長寿やまなし振興センター事業	26,722,000	0	26,722,000	※2
9 介護サービス情報の公表センター事業	17,728,000	0	17,728,000	※2
10 介護サービス情報の公表調査事業	40,192,000	0	40,192,000	※2
11 民生委員互助共励事業	7,279,600	7,279,600	0	
12 運営適正化委員会事業	4,381,000	4,354,562	26,438	
13 共同募金配分金事業	3,050,000	3,050,000	0	
14 福祉人材センター運営事業	30,445,768	37,211,259	-6,765,491	
15 介護実習普及センター運営事業	38,329,000	40,512,000	-2,183,000	
16 社会福祉事業従事者研修事業	2,122,428	2,122,428	0	
17 介護支援専門員研修事業	33,993,000	26,587,000	7,406,000	
18 精神障害者ホームヘルパー研修事業	346,430	346,430	0	
19 介護環境サポート推進事業	808,000	1,164,093	-356,093	
20 福利厚生センター事業	2,200,000	2,247,000	-47,000	
21 認知症介護実践者研修事業	2,305,000	2,070,694	234,306	
22 地域福祉推進支援事業	1,526,860	1,895,000	-368,140	
23 民生委員研修事業	899,850	899,850	0	
24 高齢者総合相談センター事業	15,904,000	0	15,904,000	※2
25 身体拘束解消推進事業	1,359,000	0	1,359,000	※2
26 介護サービス情報の公表モデル事業	990,000	0	990,000	※2
27 介護サービス評価事業	147,000	0	147,000	※2
28 振興資金貸付事業	49,643,879	30,697,830	18,946,049	
29 居室等整備資金貸付事業	70,088,185	16,452,809	53,635,376	
30 運用資金	2,000	2,000	0	
31 民間社会福祉基金	36,000	36,000	0	
32 山梨善意銀行助成事業	500,000	500,000	0	
33 ともしび基金助成事業	22,000,000	22,200,000	-200,000	
34 介護支援専門員研修受講試験事業	5,231,000	5,293,000	-62,000	
35 介護等体験受入調整事業	5,382,000	5,460,000	-78,000	
36 退職手当給与積立基金事業	102,000	1,768,140	-1,666,140	
37 企画広報啓発事業	1,350,000	1,366,000	-16,000	
38 グループホーム外部評価事業	2,580,000	0	2,580,000	※2
公益事業会計	514,736,000	492,144,000	22,592,000	
1 退職手当等共済事業	514,736,000	492,144,000	22,592,000	
収益事業会計	16,240,000	14,968,000	1,272,000	
1 社会福祉会館事業	16,240,000	14,968,000	1,272,000	
特別会計	875,467,000	859,756,000	15,711,000	
1 生活福祉資金特別会計	300,962,000	271,592,000	29,370,000	
2 生活福祉資金貸付事務費特別会計	22,398,000	26,144,000	-3,746,000	
3 離職者支援資金特別会計	552,107,000	562,020,000	-9,913,000	
合計	2,024,750,000	1,777,600,695	247,149,305	

※1 長寿財団との統合による廃止事業
 ※2 長寿財団との統合による新規事業

総額は20億2500万円に

18年度 予算 統合で13・9%増

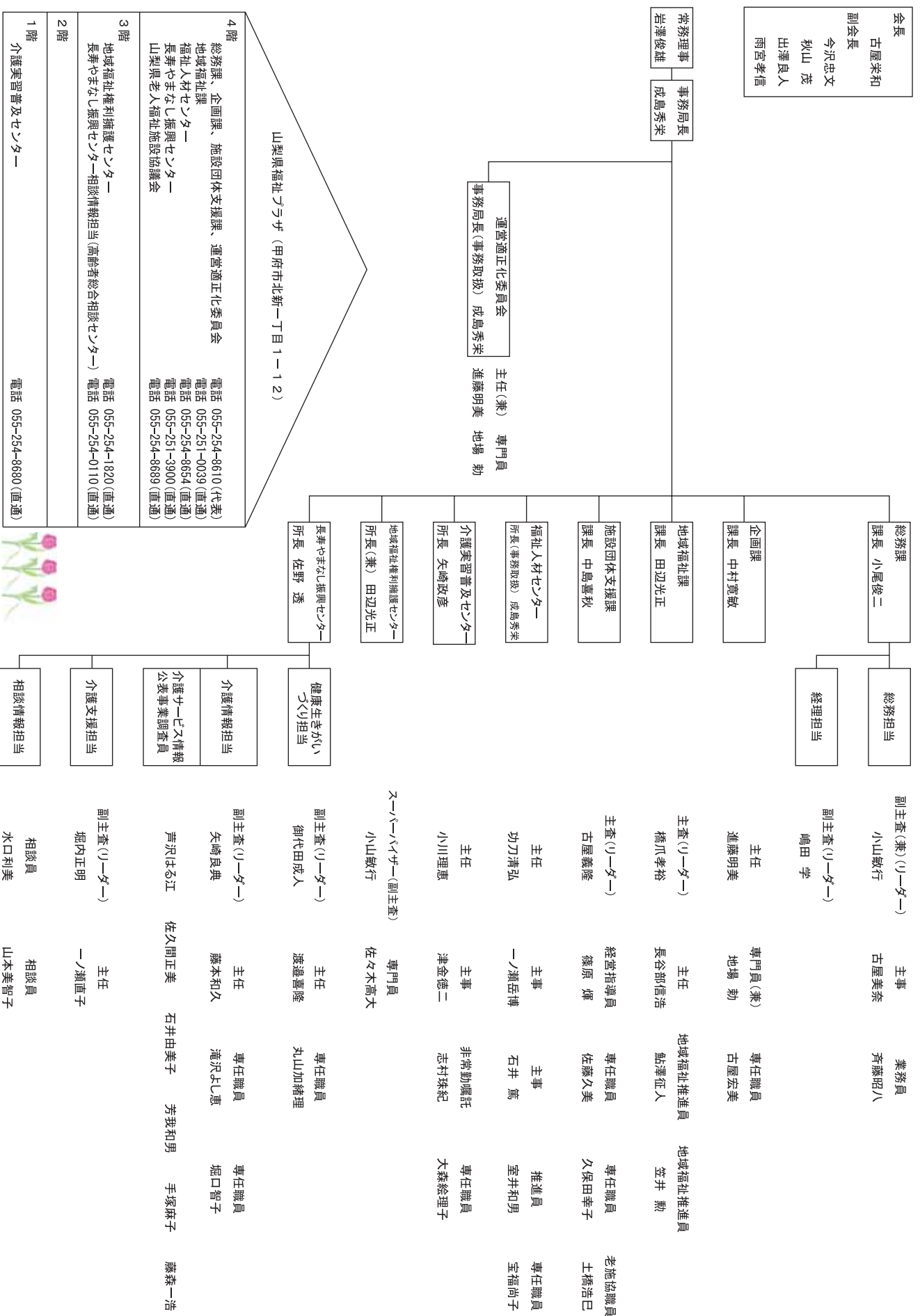
本年度の県社協予算（支出額ベース）は、約20億2,500万円です。前年度の約13・9%の伸びとなり、約17億7,800万円に、約2億4,700万円、

した。増額の主な理由は、長寿財団との統合に伴い、次の一般会計事業が加わったためです。左表8長寿やまなし振興センター事業（ねんりんピック、シルバークラウド等）、同9介護サービス情報の公表センター事業、同10介護サービス情報の公表調査事業、同24高齢者総合相談センター事業、同25身体拘束解消推進事業、同38グループホーム外部評価事業。

なかでも、介護サービス情報の公表センター・調査事業は、本年度からの新しい制度であり、円滑な事業の推進に努めます（詳細は本紙12面「お知らせ」をご覧ください）。

平成18年度山梨県社会福祉協議会組織図

(平成18年4月1日現在)



福祉人材センターニュース

無料職業紹介のご案内

福祉人材センターでは、福祉人材確保事業として、無料で就職の相談・あっせん（厚生労働大臣認可）を行っています。

■求職者の方に：
福祉分野への就労を考えている方、福祉の仕事や資格について相談したい方には、窓口にて相談員が対応

します。

求職者は「求職票」の登録が必要で、登録後は「求人票」の閲覧ができ、希望する求人があれば、その場で連絡を取り、紹介します。なお「求職票」の有効期限は2カ月で、希望があれば登録の継続をします。有効期限内は、求人求職ニュース等の情報紙や研修会等の案内をしています。

また本年度は県内各地での巡回相談（出前相談）の日を開設し、求人求職に

■求人者の方に：

福祉関係職員の採用予定があり、窓口または電話にてご相談ください。センターに求人を開示する場合には、「求人票」の登録が必要となります（FAX可）。登録後、求職者からの希望があり次第、紹介

平成18年度 福祉人材センターの主要事業

■求職者・一般向け

・福祉ワークガイダンス（7月28日、12月8日予定）

・ナイト&ホリデイ福祉入門講座・福祉の仕事セミナー
・精神保健福祉基礎研修会

■事業者・従事者向け

・ホームヘルパーステップアップ研修会・福祉の職場人事管理セミナー・精神障害者ホームヘルパー養成研修会・社会福祉従事者研修会
その他、教員免許特例法に基づく介護等体験受入調整事業を行います。

研修会の開催日時等については、決まり次第、本紙等を通じて随時お知らせします。



福祉人材センター窓口の様子



福祉の仕事セミナーの様子

4・8614

電話055・254・8654、FAX055・25

じます。

無料職業紹介の詳細については、福祉人材センターまでお問い合わせください。

また本年度は県内各地での巡回相談（出前相談）の日を開設し、求人求職に

各種御会合承ります

ベルクラシック
甲府市丸の内1-1-17

TEL 055-253-4345

財団法人 山梨日日新聞厚生文化事業団

サポートします
やまなしの福祉

〒400-8505 甲府市北口2-6-10 ☎055-231-3106

求人情報

(平成18年4月26日現在)

求人票番号	施設種別	求人職種	雇用形態	勤務地	募集人数	資格要件 (◎必須 ○いずれか必須 △望む)	年齢
0170407	総合施設	ホームヘルパー	正 規	甲府市	2	○ヘルパー1級○ヘルパー2級△介護福祉士	21~50
0170408	認知症対応型共同生活介護	介護職員	パ 一 ト	甲府市	1	◎ヘルパー2級△介護福祉士	不問
0170413	特別養護老人ホーム	介護職員	正 規	南アルプス市	3	△介護福祉士△ヘルパー2級	18~30
0170414	老人短期入所施設	介護職員	パ 一 ト	甲府市	2	△ヘルパー2級	25~55
0170415	通所介護	介護職員	パ 一 ト	甲府市	2	◎ヘルパー2級	~55
0170416	知的障害者更生施設(入所)	生活支援員	パ 一 ト	鯉沢町	2	△ヘルパー2級	20~35
0170417	保育所	看護師	パ 一 ト	甲府市	1	◎看護師◎保健師	不問
0170418	特別養護老人ホーム	看護師	正 規	山梨市	2	◎看護師◎准看護師	不問
0170420	養護老人ホーム(一般)	介護支援専門員	正 規	甲府市	1	◎介護支援専門員	30~
0170423	老人デイセンター	介護職員	パ 一 ト	南アルプス市	2	不問	不問
0170427	通所介護	介護職員	パ 一 ト	笛吹市	3	○介護福祉士○ヘルパー1級○ヘルパー2級	30~45
0170428	老人保健施設	看護師	正 規	韮崎市	2	◎看護師◎准看護師	不問
0170429	通所介護	介護支援専門員	正 規	甲府市	1	◎介護支援専門員	30~40
0170431	通所介護	介護支援専門員	正 規	甲府市	1	◎介護支援専門員	30~40
0170432	通所介護	ホームヘルパー	パ 一 ト	甲府市	3	○介護福祉士○ヘルパー1級○ヘルパー2級	20~50
0170433	通所介護	看護師	正 規	甲府市	1	○看護師○准看護師	20~40
0170434	通所介護	ホームヘルパー	正 規	甲府市	3	○介護福祉士○ヘルパー1級○ヘルパー2級	20~50
0170435	老人デイサービス事業	看護師	常勤(1年)	南アルプス市	1	◎看護師	55~62
0170438	身体障害者授産施設	看護師	正 規	甲府市	1	◎看護師	~45
0170439	特別養護老人ホーム	看護師	正 規	山梨市	1	◎看護師△保健師	~45
0170441	特別養護老人ホーム	介護職員	常勤(1年)	甲斐市	1	◎ヘルパー2級	18~40
0170442	特別養護老人ホーム	介護職員	パ 一 ト	甲斐市	1	◎ヘルパー2級	不問
0170447	在宅介護支援センター	介護支援専門員	常勤(1年)	甲斐市	2	◎介護支援専門員	不問
0170449	保育所	保育士	非常勤	甲府市	2	◎保育士	20~40
0170450	認知症高齢者グループホーム	介護支援専門員	パ 一 ト	甲府市	2	◎介護支援専門員	不問
0170451	特別養護老人ホーム	介護支援専門員	正 規	南アルプス市	1	◎介護支援専門員	不問
0170454	通所介護	介護職員	パ 一 ト	北杜市	3	○介護福祉士○ヘルパー1級○ヘルパー2級	不問
0170455	老人デイセンター	看護師	正 規	山中湖村	1	◎看護師	不問
0170457	老人デイセンター	介護職員	パ 一 ト	市川三郷町	3	○介護福祉士○ヘルパー1級○ヘルパー2級	不問
0170458	児童居宅介護等事業	ホームヘルパー	パ 一 ト	南アルプス市	1	◎ヘルパー2級	不問
0170459	認知症高齢者グループホーム	介護職員	常勤(1年)	笛吹市	1	不問	不問
0170460	老人デイセンター	介護職員	パ 一 ト	甲府市	2	不問	30~60
0170461	特別養護老人ホーム	介護職員	パ 一 ト	富士吉田市	2	△介護福祉士◎ヘルパー2級	20~55
0170462	知的障害者更生施設(入所)	生活指導員	正 規	甲府市	2	△介護福祉士△ヘルパー2級	20~40
0170463	特別養護老人ホーム	看護師	正 規	甲府市	2	○看護師○准看護師	不問
0170467	通所介護	看護師	常勤(1年)	甲府市	1	◎准看護師	不問
0170468	特別養護老人ホーム	介護支援専門員	正 規	甲斐市	1	◎介護支援専門員	不問
0170469	地域包括支援センター	介護支援専門員	常勤(1年)	笛吹市	1	◎介護支援専門員	不問
0170470	知的障害者更生施設(入所)	生活指導員	常勤(1年)	山梨市	2	不問	20~45
0170471	認知症対応型共同生活介護	介護職員	常勤(1年)	甲府市	2	△ヘルパー2級	不問
0170472	認知症対応型共同生活介護	介護職員	常勤(1年)	山梨市	1	△ヘルパー2級	不問
0170473	認知症対応型共同生活介護	介護支援専門員	常勤(1年)	山梨市	1	◎介護支援専門員	不問
0170474	認知症対応型共同生活介護	介護支援専門員	常勤(1年)	甲府市	1	◎介護支援専門員	不問
0170475	認知症対応型共同生活介護	介護職員	常勤(1年)	甲府市	3	△ヘルパー2級	不問
0170477	認知症対応型共同生活介護	介護職員	常勤(1年)	斐崎市	2	△ヘルパー2級	不問
0170478	認知症対応型共同生活介護	介護支援専門員	常勤(1年)	斐崎市	1	◎介護支援専門員	不問
0170482	知的障害者更生施設(入所)	生活支援員	常勤(1年)	都留市	1	◎社会福祉主事◎ヘルパー2級	20~60
0170485	老人デイサービス事業	介護職員	常勤(1年)	甲府市	1	△ヘルパー2級	不問
0170486	社会福祉協議会	看護師	常勤(1年)	斐崎市	1	◎准看護師	20~45
0180001	通所介護	看護師	正 規	笛吹市	1	○看護師○准看護師	~40
0180002	通所介護	看護師	パ 一 ト	笛吹市	2	○看護師○准看護師	不問
0180003	訪問介護	ホームヘルパー	パ 一 ト	甲府市	5	◎ヘルパー2級△介護福祉士	~65
0180004	訪問介護	介護支援専門員	正 規	甲府市	2	◎介護支援専門員	不問
0180006	特別養護老人ホーム	看護師	正 規	市川三郷町	1	○看護師○准看護師	20~60
0180007	特別養護老人ホーム	介護職員	正 規	鯉沢町	2	不問	20~40
0180009	保育所	保育士	パ 一 ト	甲斐市	2	◎保育士	不問
0180010	身体障害者療護施設	栄養士	正 規	甲州市	1	◎栄養士	20~40
0180012	身体障害者授産施設	職業・作業指導員	正 規	山梨市	4	△社会福祉主事△社会福祉士	20~30
0180014	特別養護老人ホーム	介護職員	正 規	山梨市	1	○介護福祉士○社会福祉主事	不問
0180015	特別養護老人ホーム	介護支援専門員	正 規	山梨市	1	◎介護支援専門員	不問
0180016	特別養護老人ホーム	看護師	正 規	山梨市	1	◎看護師	不問
0180017	特別養護老人ホーム	看護師	正 規	山梨市	1	◎准看護師	不問
0180019	特別養護老人ホーム	看護師	正 規	甲府市	2	○看護師○准看護師	不問
0180020	老人デイセンター	栄養士	正 規	甲斐市	1	◎管理栄養士	不問
0180021	老人デイセンター	看護師	正 規	甲斐市	1	○看護師○准看護師	不問
0180022	特別養護老人ホーム	調理師	正 規	甲斐市	1	△調理師	不問
0180023	認知症高齢者グループホーム	介護職員	常勤(1年)	甲府市	2	△介護福祉士△ヘルパー2級	25~40
0180024	訪問介護	ホームヘルパー	パ 一 ト	甲府市	1	○介護福祉士○ヘルパー1級○ヘルパー2級	20~45
0180025	訪問介護	ホームヘルパー	パ 一 ト	甲府市	4	○ヘルパー2級○ヘルパー1級○介護福祉士	不問
0180026	老人デイセンター	介護職員	パ 一 ト	甲府市	2	△介護福祉士△ヘルパー2級	不問
0180027	訪問介護	ホームヘルパー	パ 一 ト	甲府市	2	○ヘルパー1級○ヘルパー2級	不問
0180028	身体障害者居宅介護事業	ホームヘルパー	パ 一 ト	甲斐市	2	○介護福祉士○ヘルパー2級	不問
0180029	身体障害者療護施設	介護職員	常勤(1年)	甲府市	2	不問	20~40
0180030	身体障害者療護施設	介護職員	パ 一 ト	甲府市	1	不問	20~45
0180031	通所介護	介護職員	パ 一 ト	甲府市	1	○介護福祉士○ヘルパー2級	~50

* この他にも福祉関係の求人が160件余りあります。求人については、山梨県福祉人材センターまでお気軽にご相談ください。TEL 055・254・8654



子ども家庭支援センター所長

深沢 清美さん

深沢清美さんは4月24日、県内初の「児童家庭支援センター」としてオープンした子ども家庭支援センター TERRA（テラ）の所長さん。長年、社会福祉法人・山梨立正光生園で子どもたちとかかわってき

た経験を踏まえ、地域を意識した事業に取り組んでいきたいといっています。センターの事業は、虐待や不登校、引きこもり、少年非行の凶悪化など、複雑・多様化する児童家庭問題に対応するため、地域の身近な場所で相談などを行う拠点として位置付けられています。山梨では実績のある立正光生園が「TERRA」を開設して活動を始めました。

TERRA（甲府市伊勢3-8-11）は新平和通り沿いにあります。所長、心理士、相談員を置き①子ども家庭の悩みや心配ごとの相談②地域の仲間づくり支援③緊急の一時保護④病気や出産などで一時的に養育困難な時、子どもを預かる短期入所などを行います。山梨立正光生園は昭和15年4月に設立されました。当時、遠光寺の住職だった加賀美日聡さんが境内に保

た。支援センターは、そうした精神を生かして運営していきます」と話します。「施設で受け入れる子どもは、戦後まもなくは戦災孤児でした。その後、情緒不安定な子、校内暴力・シスターなどと変化しました。経済の高度成長が子どもたちに影を落としたのです。それは、その年代の子どもたちが親になっても影響しました。今は虐待です。親子関係がつかれない親が増えていくようです」

親子関係の悩み まず相談

「TERRA（テラ）」の相談業務

育園を開設したのが始まりです。しかし20年の甲府空襲ですべて消失。その後、乳児院や母子寮（現・母子生活支援施設）などを開き、社会福祉法人となって児童福祉に貢献してきました。深沢さんは児童養護施設・山梨立正光生園テラの所長でもあります。「テラは遠光寺のテラ、ラテン語の大地、地球からとっています。ここは一貫して弱い立場の人たちとかかわってきまし

かわる女性の役割をもう一度見直したい」といいます。それは育児が一大事業であることを再認識してほしいという願いです。もう一つは地域で子どもを育てることの重要性。「センターでは当面、相談事業から始めますが、親がどうしていいかわからない」というところに、私たちがかわれる可能性があると思うんです。それを地域で共有できれば、事業が一步進めるのは」と話しています。



「育児が一大事業」再認識を

県内初の児童家庭支援センターの所長・深沢清美さん

福祉関連各種大会・研修会・職場旅行等
お気軽にご相談ください。

 **名鉄観光サービス株式会社**

甲府営業所
〒400-0031 山梨県甲府市丸の内1-8-12 白木屋ビル内
Tel 055-228-3221 Fax 055-228-1457

 介護の負担をお助けします



株式会社 サンカイゴ

介護用品・福祉用具・住宅改修

玉穂店 〒409-3803 中央市若宮13-4 TEL055-274-1152
シルバー店 〒400-0027 甲府市富士見1-3-28 TEL055-251-1121

 ボウリングシャトル

高齢者向け!! 室内新スポーツ

ラウンド吹き矢



マグネット付きのシャトルを的に向かって下手投げ



ボウリングシャトルの的に裏返すとラウンド吹き矢的に早変わり



当たった矢の得点をチェック

鈴付きシャトルを
投げるだけ

「ボウリングシャトル」をご存じですか？
先端にマグネットの付いたバドミントンの羽（シャトル）を、的に向かって投げると、的に向かって下手投げをするだけ。
ボウリングのピンの絵に得点を書いてあるのをねらってシャトルを投げ、得点を競う、とても簡単なゲーム

ムです。
的に当たるとシャトルに付いている鈴の音が鳴る仕組みです。高齢者はもちろん、小さなお子さんも楽しんで、またグループだけでなく、1人でも手軽にできます。
ボウリングシャトルは、2年前に簡単に生涯楽しめるニュースポーツとして、大久保汐美さん（甲府市）からラウンド吹き矢クラブの皆さんが考案しました。

やまなし生まれの
ニュースポーツ!

ラウンド吹き矢
に早変わり!

投げるときに両手を大きく振るため、身体のバランスを使った運動ができません。肩こりの解消や集中力アップにもつながり、高齢者の介護予防にも役立ちそうです。
またの高さを変えることもができるため、車いすの方も楽しむことができます。

専用の吹き矢のセットを使って、安全にできるラウンド吹き矢に変身します。
吹き矢をもとに考案され、誰もが手軽で安全に楽しめるように改良されたニュースポーツです。
約120cmの筒に紙の矢を入れ、的に向かって飛ばします。
矢の先端には、丸い小さな金属が付いているため、人に刺さる心配はありません。
吹き矢は、腹式呼吸を使って矢を飛ばすため、血液の循環が良くなり、身体の内側から健康になることが期待できそうです。

その他にも、風船を割る的当てゲームや、「ニュートン」と呼ばれる的落としてゲームにも変化させることができるため、1台で4つのゲームが楽しめます。
何かスポーツをしたいと考えている方、思いきって挑戦してみませんか。
（長寿やまなし振興センター健康生きがいづくり担当）

グループホームの外部評価

平成14年、認知症高齢者が利用するグループホームは、サービスの質の向上をめざし「外部評価」が義務付けられました。その内容と評価結果を紹介します。

『認知症』：新しいケアの実践！

現在わが国では、要介護認定者の2人に1人は認知症の影響が見られ、その数は約160万人といわれています。今後の高齢化の進

展に伴って、2015年には約250万人、2025年には約320万人に増加すると予測されています。平成18年2月末現在で本

者介護については「身体ケアのみではなく、認知症高齢者に対応したケアを標準として位置づけ」、早期の段階からの適切な診断と対応、正しい知識と理解に基づく地域での支援体制の確立「新しい認知症ケア」をめざしています。

認知症高齢者グループホーム

認知症高齢者は約4、600人（推計）と発表されました。4年間で約1万人も増えたこととなります。国では、これからの高齢

認知症の方は、記憶障害などの認知障害から、日々

このグループホームは、介護の専門スタッフの支援を受けながら、5〜9人を一つの生活

あり、利用者は認知症高齢者ともすれば、外部からの目が届きにくく、密室での介護になりがちという問題があります。

県の要介護認定者数は約2万8千人です。1万4千人を超す人が何らかの認知症の症状を有すると予測

本人の心の安定と家族の共倒れを防ぐための有効な手段として、介護保険制

度には「認知症対応型共同生活介護」、いわゆる認知症高齢者グループホームがあります。

期待できるグループホームですが、一方で、小規模であり、利用者は認知症高齢者ともすれば、外部からの目が届きにくく、密室での介護になりがちという問題があります。

グループホームの外部評価の実施

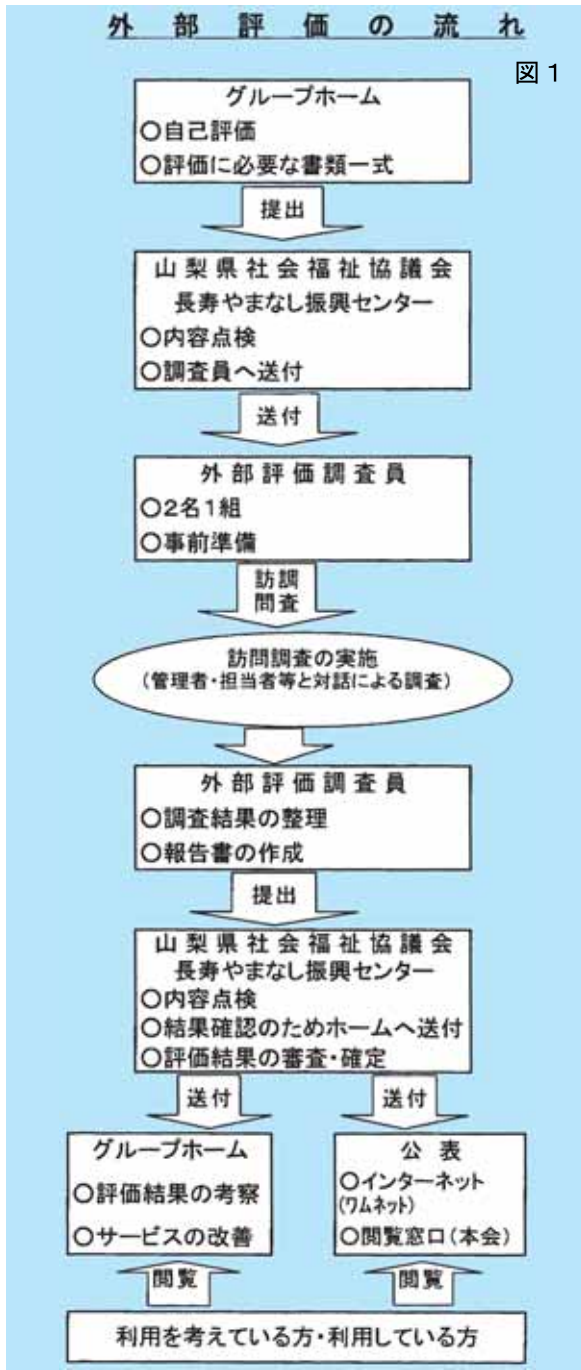
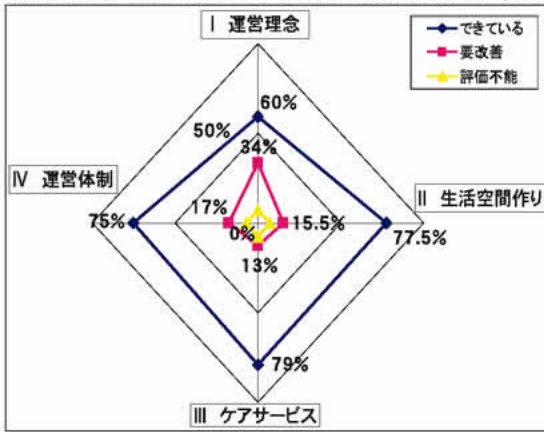


図1

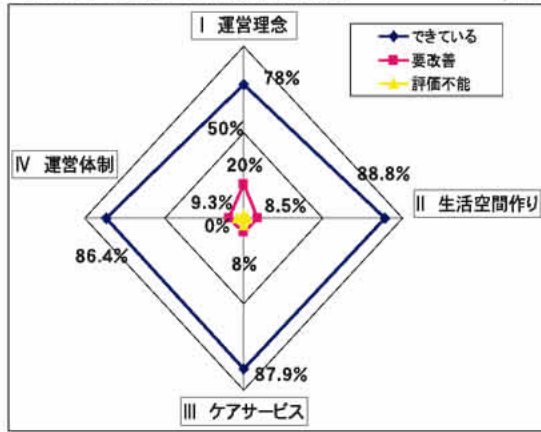
単位（ユニット）として、少人数（グループ）の家庭（ホーム）的な雰囲気の中で、食事や洗濯、掃除などの日常生活をゆったりと過ごす、その人がその人らしく生活することをめざしています。全国に約6000カ所、本県では平成18年3月末現在で43事業所が県の指定を受けています。

事業所自らの責務において、サービスの内容を評価する自己評価とともに、平成14年度以降、他の介護サービスに先駆けて第三者の

平成17年度 グループホーム 外部評価結果(領域別) 図2



平成17年度 グループホーム 自己評価項目における外部評価共通項目の評価結果(領域別) 図3



平成17年度グループホーム評価結果の共通項目分析表(数字は四捨五入)
外部評価結果 自己評価結果

分野・領域	外部評価結果			自己評価結果		
	できている	要改善	評価不能	できている	要改善	評価不能
I 運営理念	60%	34%	7%	78.0%	20.0%	2.0%
1. 運営理念の明確化	(71%)	(22%)	(7%)	(92.7%)	(7.3%)	(0.0%)
2. 運営理念の啓発	(48%)	(45%)	(7%)	(63.0%)	(33.0%)	(4.0%)
II 生活空間づくり	77.5%	15.5%	7%	88.8%	8.5%	2.3%
1. 家庭的な生活空間づくり	(71%)	(22%)	(7%)	(86.5%)	(9.0%)	(4.5%)
2. 心身の状態に合わせた生活空間づくり	(84%)	(9%)	(7%)	(91.0%)	(8.0%)	(0.0%)
III ケアサービス	79%	13%	8%	87.9%	8.0%	4.2%
1. ケアマネジメント	(76%)	(17%)	(7%)	(85.0%)	(14.0%)	(1.0%)
2. ホーム内でのくらしの支援						
(1) 介護の基本の実行	(81%)	(11%)	(7%)	(88.0%)	(9.0%)	(3.0%)
(2) 日常生活行為の支援	(85%)	(8%)	(7%)	(94.2%)	(5.2%)	(0.6%)
(3) 生活支援	(60%)	(31%)	(10%)	(65.0%)	(14.0%)	(22.0%)
(4) ホーム内の生活拡充支援	(90%)	(2%)	(7%)	(92.0%)	(6.0%)	(2.0%)
(5) 医療機関の受診等の支援地域生活	(81.7%)	(9.3%)	(8.7%)	(89.3%)	(6.7%)	(4.0%)
(6) 心身の機能回復に向けた支援家族との交流支援	(76%)	(17%)	(7%)	(90.0%)	(8.0%)	(2.0%)
(7) 入居者同士の交流支援	(88%)	(2%)	(10%)	(92.0%)	(2.0%)	(6.0%)
(8) 健康管理	(72%)	(21%)	(7%)	(83.3%)	(10.8%)	(6.0%)
3. 入居者の地域での生活の支援	(71%)	(21%)	(7%)	(88.0%)	(12.0%)	(0.0%)
4. 入居者と家族との交流支援	(90%)	(2%)	(7%)	(100.0%)	(0.0%)	(0.0%)
IV 運営体制	75%	17%	7%	86.4%	9.3%	4.3%
1. 事業の統合性	(82.0%)	(11.0%)	(7%)	(88.0%)	(5.0%)	(7.0%)
2. 職員の確保・育成	(69%)	(24%)	(7%)	(78.7%)	(20.7%)	(0.7%)
3. 入居時及び退居時の対応方針	(90%)	(2%)	(7%)	(96.0%)	(2.0%)	(2.0%)
4. 衛生・安全管理	(73%)	(19%)	(8%)	(97.0%)	(3.0%)	(0.0%)
5. 情報開示・提供	(93%)	(0%)	(7%)	(88.0%)	(2.0%)	(10.0%)
6. 相談・苦情への対応	(67%)	(26%)	(7%)	(86.0%)	(12.0%)	(2.0%)
7. ホームと家族との交流	(75%)	(18%)	(7%)	(95.3%)	(4.7%)	(0.0%)
8. ホームと地域との交流	(53%)	(40%)	(7%)	(62.0%)	(25.0%)	(13.0%)

評価調査員による外部評価が制度化され、インターネット上での公表が義務付けられました。

平成17年度は、旧長寿財団が本県の外部評価機関として、外部評価を実施します。

評価を受けるための手順は、外部評価の流れ(図1)

評価結果の活用

昨年度の外部評価結果の傾向は、図2のとおりです。また、この「外部評価」と共通項目について、各事業者による「自己評価」は、図3の結果となっています。

そこで、図2と図3を比較すると、図2の外部評価、いわゆる第三者が評価した場合の方が、「できている」とする数値が低く、逆に「要改善」とした数値が高くなっています。

しかし、「要改善イコール良くないグループホーム」ということではありません。「外部評価」とは、ランク付けや画一化を図るものではなく、事業者自らが「自己評価」と「外部評価」の結果の異同を分析し、改善点に気づくことが重要です。

個々のグループホームの評価結果については、インターネットや本会の閲覧コーナーで閲覧できます。

今後、グループホームを利用するにあたって、自分に合ったグループホーム、家族が求めるグループホームを共に考える参考としてご活用ください。

外部評価結果公表
ホームページ

- ① 山梨県社会福祉協議会のホームページ (<http://www.y-fukushi.or.jp/>) にアクセス
- ② 「認知症グループホーム外部評価情報」をクリック
- ③ 評価結果を見たいグループホーム名をクリック。

そこから事業者が、自発的努力と体制づくりのもとで、サービスの質の改善と向上につなげていくものです。この取り組みが、入居者や地域におけるグループホームの社会的信頼を高めることとなります。

(長寿やまなし振興センター介護情報担当)

外部評価結果の閲覧

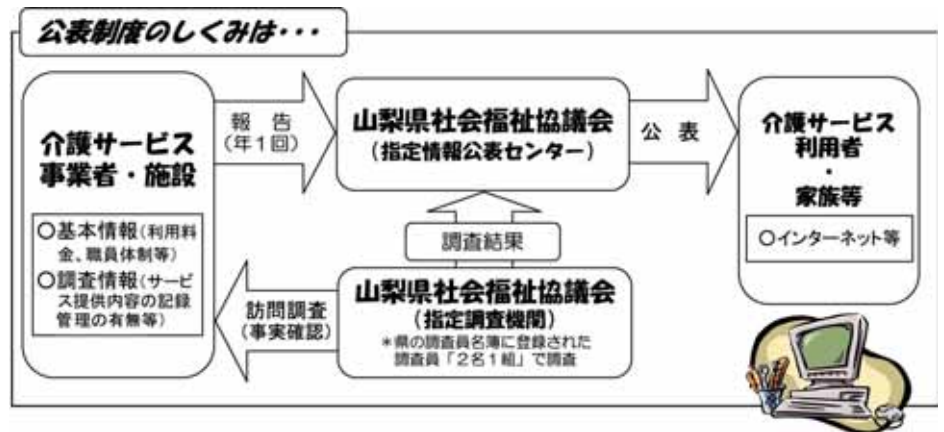
おしらせ

「介護サービス情報の公表」 制度がスタート

介護保険法の改正に伴い、本年4月から介護保険サービスを提供している事業者と施設は、介護サービス情報の公表が義務付けられました。

県社会福祉協議会は、本制度における「指定調査機関」と「指定情報公表センター」として県の指定を受け、事業を実施します。

○対象サービス（9サービス）
訪問介護、訪問入浴介護、訪問看護、通所介護、特定施設入居者生活介護、福祉用具貸与、居宅介護



支援、介護老人福祉施設、介護老人保健施設
○調査・公表手数料（「山梨県手数料条例」で定められています）

57,000円（内訳：調査手数料42,000円、公表手数料15,000円）
○問い合わせ先：長寿やまなし振興センター 電話055・251・3900

高齢者総合相談センター （シルバー110番）

高齢者やその家族が抱える、生活上のさまざまな心配ごとや悩み

ごとの相談に応じます。
甲府市北新1-2-12
山梨県福祉プラザ3階
電話055・254・0110

福祉用具・住宅改修相談

毎月第2・第4水曜日、第2土曜日の14時から16時は「福祉用具・住宅改修相談」を行っています。
車いすやベッドの選び方、お風呂場に手すりをつけるにはどうしたら良いかといった相談に応じます。相談には、理学療法士や作業療法士、建築士といった専門家が交替で対応します。
相談は予約が優先となりますので、まずは電話にてお問い合わせください。
介護実習普及センター
電話055・254・8680

ボランティア活動保険

ボランティア活動中のさまざまな事故によるケガや賠償責任を補償する「ボランティア活動保険」の制度があります。

加入対象は、社会福祉協議会とその会員・構成員、社協に登録（委嘱）されているボランティア等です。

対象となる活動は、日本国内における「自発的な意思により他人や社会に貢献する無償のボランティア活動」とし、保険金が支払われる例は、次のとおりです。

- ・清掃ボランティア活動中、ボランティアが転んでケガをしまった
 - ・ボランティア活動に向かう途中、交通事故にあった
 - ・活動中、食べた弁当でボランティア自身が食中毒になった
 - ・入浴ボランティア活動中、誤ってお年寄りにケガをさせてしまった
- 年間掛金は300円からで、加入プランと補償金額により異なります。

問い合わせ先：市町村社会福祉協議会または、山梨県社会福祉協議会地域福祉課 電話055・251・0039

内容	相談員	時間	
一般相談	常勤職員	月～金曜日 9時～17時	
専門相談	常勤保健師		
	法律	弁護士	毎週水曜日 ※要予約 13時～16時
身体拘束解消	専門相談	常勤保健師	月～金曜日 9時～17時
	派遣相談	介護の専門家	※要予約

☆土・日曜日、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）は休みです。